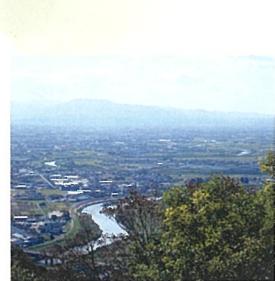


# 水の王国とやま

水不足なんて  
ありえないよね！



## 意外な事実 とやまの水

1  
エ～ッ!  
本当?

富山ってこんなに水が豊か。

豊富な水ですが、時には牙をむく気まぐれな水を安定的に利用するのはなかなか難しい。一方、元々利用できる水が少ない地域もあります。そこで、先人達は知恵を絞って農業施設や水道施設を作っていました。

2  
エ～ッ!  
本当?

富山の川って急流で石が  
ゴロゴロして浅い。

今は各地にダムができるで水流も減りましたが、昔は小矢部川や庄川、神通川だけでなく、中小の河川も網目のように舟運があったようです。名残はわずかですが、人や荷物、文化も隅々まで運ばれていました。

3  
エ～ッ!  
本当?

最近、話題の小水力発電。

富山県では全国でも先んじて水力発電の試みが行われました。しかし、川をせき止める大きなダムを造る大規模発電所の建設は難しく、初期の発電所は、低落差の大久保用水や牛ヶ首用水などを利用した小水力発電でした。

あなたが最後に川と触れ合ったのはいつですか？

少し前まで、多くの人と川の距離はごく近いものでした。先人達は、水を利用するため様々な知恵と工夫を凝らしてきました。

本県ならではの「水」に関わる文化遺産にスポットをあてた「水の王国とやま」。第2弾は「利用する」です。

川との距離を少し縮めに出かけませんか？



## 水利施設に見る 先人の工夫と努力

最近いつ川と  
触れ合いましたか？

# 豊かな水

## 発掘で見る水の利用の例

縄文時代 桜町遺跡【小矢部市遺1】では、川の水を引いて木の実のアクを抜くための「水さらし場」が見つかっています。また、魚を捕る道具はこの時代から既に見つかっています。

弥生・古墳時代 生活に欠かせない井戸跡、浚渫や修理を繰り返した水路跡などが見つかります。



中小泉遺跡の井戸

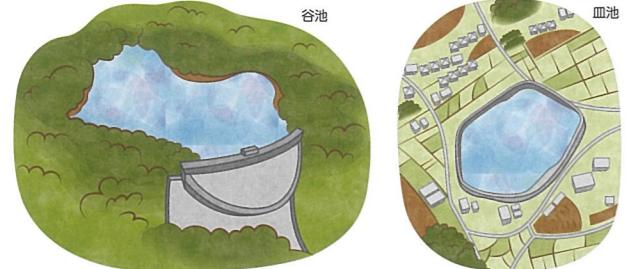
奈良・平安時代 大規模な新田開発を物語る水路跡や田畠跡が見つかっています。小杉丸山遺跡【国史跡：射水市遺4】で焼かれた瓦は、水運で越中国府にあった御亭角廃寺【高岡市遺5】に運ばれました。船着き場跡は中保B遺跡【高岡市遺6】で見つかっています。

鎌倉・室町時代 小さい河川跡から船着き場跡が見つかることがあります。公家や高僧の紀行文や日記などに渡し船が登場し、水上交通網の発達がうかがえます。用水や田畠跡も多数見つかることから、この頃に扇状地の開発が進んだようです。しかし、梅原遺跡群【南砺市遺7】のように約200年間に掘られた260基以上の井戸跡が見つかることもあり、生活用水の確保には苦労していました。

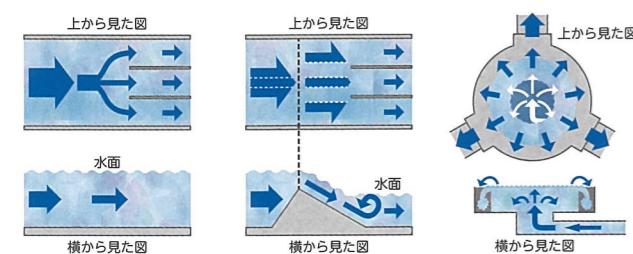
江戸時代 溝池の築堤や用水路の開削が各地で行われ水事情が改善されています。また、町部では市街地に水を引き入れて生活用水や防火用水を整備しています。

## 農業関連施設

溜池の種類



分水施設の種類



## 越中和紙他①

五箇山和紙（南砺市）、八尾和紙（富山市）、蛭谷和紙（朝日町）の総称で産地ごとに用途が違います。富山県は奈良時代には和紙の産地として記録されています。和紙作りは、材料を浸す段階から紙漉き段階まで清らかで豊富な水が欠かせません。国の伝統工芸品に指定されています。



## 養鯉他②

高岡市福岡町矢部地区の養鯉では、潤沢な地下水と湧き水が、水田に不向きだったため、江戸時代終わりからコイの養殖が始まり、大正初期頃から農家の副業として普及しました。食用と觀賞用の鯉の全国的な産地のひとつとなっています。



## ④ 分水施設

取り入れた水を公平に分配するために工夫された分水工には、背割り分水、射流分水、円筒分水などがあります。

## ⑤ 水車

水のエネルギーを回転する機械エネルギーに変える発動機です。脱穀や製粉、揚水のほか、発電でも使われます。

## ⑥ 偉人の顕彰碑や墓

各地で地域に水路を引き、開拓を行った先人を讃えた記念碑や銅像、墓が大切に守られています。

## ⑦ その他

神社や祠、事業完工記念碑・公園などがあります。

## ① 溝池

山間や丘陵地の小さい谷や川をせき止めた谷池と平地のくぼ地を堤防で囲んだ皿池があります。本県では多くが谷池です。

## ② 用水路

土や石積の多くがコンクリートや鋼材に更新されています。水路は隅々まで張り巡らされ、水田率の高さは全国一位です。

## ③ 頭首工・取水口

頭首工は、川の流れをせき止め水を用水路に取水する施設ですが、洪水調整や発電兼用のものもあります。昔は木組みと石積みで作られ取水に苦労していました。

市町指定史跡：高円堂用水【魚津市農1】、二万七千石用水取入口跡【砺波市農2】、正印次郎兵衛の墓【上市町農3】、

国登録有形文化財：東山円筒分水槽【魚津市農4】、赤祖父円筒分水槽【南砺市農5】

# の利用

水は人の暮らしに欠かせない大切な資源であり、富山県には多くの川と豊富な地下水があります。しかし、川の水も地下水も思うほどたやすく利用できません。先人たちは、水を得るため様々な工夫と大変な努力をしてきました。

## 水運施設

水運は、大量の「もの」を一度に運ぶ手段として古くから利用され、比較的流れが緩やかな小矢部川や神通川などで「内陸水運」が盛んでいた。しかし、鉄道や自動車輸送へと変化し、関連施設はあまり残されていません。

## ② 偉人の顕彰碑や墓

水運の発展に尽力した偉人の顕彰碑や墓です。

## ③ 内陸水運で栄えた町

小矢部川沿いの福光・福野【南砺市】、津沢【小矢部市】、神通川沿いの笛津【富山市】、常願寺川沿いの上滝【富山市】などは、米を河口まで下し、生活物資を内陸に運ぶ拠点として栄えました。

## ④ 運河

富山市の環水公園は、沿岸の工業地帯化に貢献した「富岩運河」【富山市運1】の一部です。「水のエレベーター」体験ができる中島閘門【運2】は国の重要文化財です。また、「日本のベニス」とも呼ばれる内川【射水市運3】は、起源が中世に遡る富山新港（旧放生津潟）から庄川までの東西1.8kmあまりの運河です。



## 水道施設

### ■ 取水施設

古い時期には、地下水を使用していましたが、供給範囲や使用量が多くなり、発電用やかんがい用と兼用の堰堤・ダムから水を引いています。

県内の古い水道施設には、清水町配水塔資料館（旧配水塔・旧第3源井上屋・水源地水槽【高岡市水6】）や水道水源地ベンチュリーメーター台（モニュメント）【射水市水7】があります。

### ■ 貯水施設

配水塔は、給水システムに適切な圧力をかけて配水するための施設です。様々な形や意匠のものがあります。



早月川の伏流水を引いて生活用水とした「てんこ水」



水道水源地ベンチュリーメーター台（モニュメント）

### ■ 配水施設



## 発電施設の種類

### ① ダム

重力式やロックフィルなど様々な種類があります【vol.1 ダム（堰堤）参照】

### ② 取水施設

堰や門、水路橋等、川から水を取り入れる施設。重厚な石積みや意匠的な施設も多くあります。

### ③ 貯水池・調整池

天候による流量の変化を吸収・調整する施設。蓄える水の多少で貯水池と調整池に分けられます。

### ④ サージタンク

水車の負荷変動やバルブ開閉の際の急激な水圧の変化を抑える施設で、デザイン的に凝ったものや珍しいタイプのものもあります。

### ⑤ 水圧鉄管

高所の貯水池や調整池から発電所まで、落差による圧力を受け止め、水車へと水を送ります。驚くほど長いものもあります。

### ⑥ 発電所

建て替えが行われたものも多いが、大正～昭和時代初期の凝ったデザインの建物も各所に残っています。

# おやべ 小矢部川 しょう 庄 川

**伏木湊**  
伏木湊は、江戸時代には重要な港として、近代以降は日本海側の拠点港として発展しました。伏木や吉久周辺には、港の近代化に大きく貢献した藤井能三の遺産や北前船で栄えた豪商の屋敷などの歴史遺産が点在しています。

**福岡鯉の里公園**  
滝がある池には錦鯉が沢山泳ぎ、を始めた茂古で沼太郎吉氏と養鯉技術の改良と普及に尽力した成田熊吉の顕彰碑があります。

**阿曾三右衛門供養碑及び墓**  
供養碑は、遺徳をしのび津沢の町民が死後百年目に建立しました。墓所と石像がある阿曾公園は、憩いの場です。

**赤祖父溜池**  
・円筒分水槽  
赤祖父溜池は、赤祖父川流域の水不足解消のため戦争中も工事が続けられ、終戦直前に完成しました。溜池の水は直下にある円筒分水槽で分水されます。引込まれる美しさがあります。

富山県の石川県との県境に源を発し、富山湾に注ぐ延長68kmの一級河川。本県では珍しく平野部を大きく蛇行して流れ、河口付近の伏木には奈良時代、国府がおかれていました。下流域は「万葉集」に射水川として詠まれています。

岐阜県の飛騨山地に源を発し、富山湾に注ぐ延長115kmの一級河川で、「万葉集」では雄神川と呼ばれました。美しい扇状地を形成し、先端部で豊富な湧水がみられます。また、砺波平野の散村風景は有名です。



## 種糲って何?

種糲とは、水稻の種子のことです。種糲全国受託生産量の約6割を占める全国一の種糲生産県において、砺波市庄川町中野地区がその約5割を生産しています。約260年の歴史があり、コシヒカリやササニシキといったメジャー品種は勿論のこと、全国43都府県に約40品種の種糲を出荷しています。朝夕の露切り風や豊富な雪どけ水、水はけの良い土質などがこれを支えています。

**清水町登配水塔資料館**  
高岡市の近代水道発祥の地で、昭和6年当時は配水塔、源井、配水池、ろ過室やポンプ室などもありました。配水塔1階は、展示室となっています。

**らせん螺旋水車の館 農6**  
大正時代に砺波市で考案され、全国に普及しましたが、動力機の進化や農業形態の変化により衰退しました。共同のワラ打ち場だった当時のまま残っているのは大変希少で、産業遺産に登録されました。

**二万七千石用水 農2  
取入口跡 市・史**  
舟戸公園の上流に庄川左岸最上流部の取水口跡があります。3用水の合口取水口として、庄川合口堰堤が完成する昭和15年まで使われていました。

**井堰神社 農7**  
庄川の中にある赤岩のおかげで、常に十分に取水できるとして赤岩に建てた祠が、二度の遷座を経て大正時代から現在地にあります。

## 小牧ダムと祖山ダム 登

戦前に5番目に高いダムだった祖山ダムと発電所は、下流にある東洋一のダムと呼ばれた小牧ダムと同時に完成しました。凝った造りのサージタンクが印象的です。

# 神通川

## 牛ヶ首用水 農8・9 と牛ヶ首神社

江戸時代前期。神通川の氾濫原の荒れ地に用水が引かれました。加賀藩の強力な後押しもあり、最終的には、4万石の新田が開かれました。用水の鎮守として神明社が建立され、毎年奉納相撲が開催されます。

## 牛ヶ首用水 発4 発電所群 農6

牛ヶ首用水の豊富な水を利用し、大正から昭和にかけて下井沢、四津屋、五平定、成子、成子第二、薄島の6基の低落差発電所群が建設されました。鉄筋コンクリート造りのシンプルながら意匠的な建物が残る現役施設です。

## 神通川 発電施設群 発5

第二次世界大戦前にあった神通川の電力開発は、戦後に再開されて昭和26年に神一ダムが完成しました。取水した水は、神通川第一発電所と庵谷発電所で発電されています。

## ～水利用にまつわる県指定天然記念物～

### 駒つなぎ桜

氷見市栗原



ヤマザクラの老木です。十二町湯にあった13谷のひとつで、能登へ抜ける道に連絡する舟路の終着だったとされ、大伴家持が遊覧の際に馬をこの桜に繋いだと伝えられます。

### 舟つなぎの椎

富山市山本



本県の代表的な椎の老木で、この名前は、昔、鍛治川がこの辺りを流れていて、舟がここまでさかのぼって、物資運搬をしていた名残と思われます。

### 今山田の大かつら

富山市今山田



樹齢は600年とも700年ともいわれる大樹。砺波地方からは新芽が出る頃に黄金色に見え、田植え時期の目印として親しまれました。また、根本付近から湧水がみられ、飲料水として利用されてきました。

## 岩瀬湊 運9

室町時代から重要な湊で江戸時代は交易や物流の中心地でした。今も北前船の寄港地として繁栄した名残が旧森家住宅(重文)などに色濃く残っています。



## 富岩運河・中島閘門 運4・5

富岩運河は東岩瀬港から富山駅北を結ぶ約5kmの運河で、中島閘門で上流と下流の水位差を解消し船を通します。船溜りは現在は憩いの場:環水公園です。



## 舟橋・常夜燈 運10

江戸時代。神通川にかかる舟橋は富山の名物でした。舟橋の両岸の常夜燈は、夜道の安全のための道しるべでした。



# 常願寺川

北アルプスの山中に源を発し、富山湾に注ぐ延長56kmの一級河川で、世界でも屈指の急流河川です。古くからその時代の為政者が治水に心血を注ぎましたが、安政の大地震で発生した土石流は、下流のすべてを破壊しました。現在も砂防工事や巨大水制群や霞堤の整備などを進めながらも、知恵と工夫で様々な形で水を利用しています。



# 片貝川 黒部川

立山連峰北方の毛勝山、猫又山付近に源を発し富山湾に注ぐ延長20kmの二級河川で日本屈指の急流河川。かつては現在よりかなり西方を流れていますが、鎌倉時代に大きく東へ流れを変え、現在の流れになつたといわれています。

北アルプスに源を発して日本海に注ぐ、全長約85kmの日本屈指の急流河川。上流部は豊かな自然と美しい景観から国特別名勝・特別天然記念物「黒部峡谷附猿飛並びに奥鐘山」に指定されています。下流部は川筋の多さから「四十八ヶ瀬」または「いろは川」と称されました。



# 川は人も物も文化も運ぶ

## ～古今東西を問わず、川は文化の伝播と深く関わってきました～

・富山県と飛騨地方は、本県を南北に貫く神通川や庄川を通じて深く結びついています。富山湾のブリは塩漬けにされ、塩ブリとして飛騨地方に運ばれ、飛騨の年越しに欠かせない特別なご馳走になっています。

・県内各地に舟運の荷物の積み下ろしの際に歌われた「荷方節」や漁撈関係者が全国に伝えた「まだら」などルーツを同じくする民謡が内陸部にも広く残っています。また、県内にいくつかのタイプがある獅子舞も、舟運で遠く離れた場所に点的に分布しています。

・燃料が採れる山間や山裾で焼かれた焼物（須恵器、八尾焼、越中瀬戸焼など）や日本各地から海運で運ばれてきた焼物（唐津焼、越前焼、珠洲焼など）は、川の舟運で県内各地に運ばされました。

・富山県は、県の東西も、沿岸部も平野部も山間部も、多くの川で結ばれていたため文化に大きな差は見られません。



塩ブリ



高岡なき荷方節

### 水の開拓者たち

豊かにあるのに一筋縄では利用できない  
水を切り開いた先人達

#### 1. 水を引いて大地を潤した開拓者

- 八町村 善左衛門
- 下村 長左衛門
- 小竹村 久右衛門

江戸時代前期。神通川右岸を広くかんがいする北陸を代表する牛ヶ首用水【富山市・射水市農⑧】を9年かけ完成させました。最大の難所を神のお告げで開通させた「牛ヶ首伝説」が有名です。



牛ヶ首用水記念碑

- 五十嵐 篤好

江戸時代後期。現在の高岡市内島の十村の家に生まれました。20年をかけ富山市大沢野地区の舟倉用水【農⑨】を完成させました。生家跡の高岡市立五位小学校敷地【高岡市農⑩】に顕彰碑や墓が立っています。



五十嵐篤好顕彰碑

- 正印 次郎兵衛

江戸時代前期。現在の上市町正印に生まれ、のちに十村も務めました。早乙女川（上市川）の大規模な治水工事を行い、現在の湯崎野一帯を開拓しました。墓と顕彰碑【上市町農⑪】では毎年8月に慰靈祭が行われています。



正印次郎兵衛の墓及び顕彰碑

#### 2. 福野・福光・津沢の祖

- 阿曾 三右衛門

江戸時代初め。現在の南砺市本江に生まれ、人々の便を図るため福野と福光【南砺市】を町立てし、小矢部川の水運利用のため津沢【小矢部市】に藩蔵を設置し町立てをしました。福野には頌徳碑と銅像（運⑫）が、津沢には墓と石像・供養碑（運⑬）があり、毎年その遺徳を偲ぶ祭が行われています。



津沢御蔵跡記念碑

#### 3. 県内初の水力発電所を建設

- 金岡 又左衛門

江戸時代の終わり。富山市新庄に薬種商の長男として生まれた実業家・政治家。明治32年に大久保発電所【富山市発①】から県内初の電気を富山市へ供給しました。その後も庵谷発電所の建設や産業の誘致を行い、富山県の経済基盤の土台作りや育英事業に貢献しました。



薬種の館 金岡邸（登）

#### 4. 黒部川電源開発の功労者

大正7年、高峰讓吉が黒部川の水力発電の可能性に注目し、大正12年以降は、日本電力がトロッコ軌道や柳河原発電所【黒部市発⑫】などを建設し、開発を進めました。

- 山田 肥

電源開発の基地として宇奈月開発に力をそそぎ、大正12年には黒龍から温泉を引き、宇奈月温泉の基礎を築きました。



山田 肥 胸像

- 山岡 順太郎

日本電力の初代社長。宇奈月を愛し、別邸を「独楽荘」と名付けました。柳河原発電所の完成の翌昭和3年に逝去しています。



独楽荘の碑

奥付／発行者・住所：とやまの文化遺産魅力発信事業実行委員会

富山県富山市新総曲輪1-7 (富山県教育委員会生涯学習・文化財室内)

発行年月日：令和3年3月15日

文化庁 文化振興費補助金（地域文化財総合活用推進事業）